

IWA 2022
(デンマーク)研究第一部
主任研究員

土師 健吾

研究第一部
研究員

松本 祐典

技術評価部
審査調査員

今里 譲治

資源循環研究部
研究員

熊野 智之



はじめに

本機構では、わが国の下水道関連企業のビジネス展開の支援等を目的とし、海外への情報発信や技術情報の収集を図るため、積極的に国際会議や展示会に参加しています。今回、IWA（国際水協会）が開催するIWA World Water Congress & Exhibition 2022に研究発表およびブース出展による情報発信・収集を目的に参加しました。

今回はデンマーク・コペンハーゲンにあるBella Centerで2022年9月11日から15日の5日間にわたり開催されました。

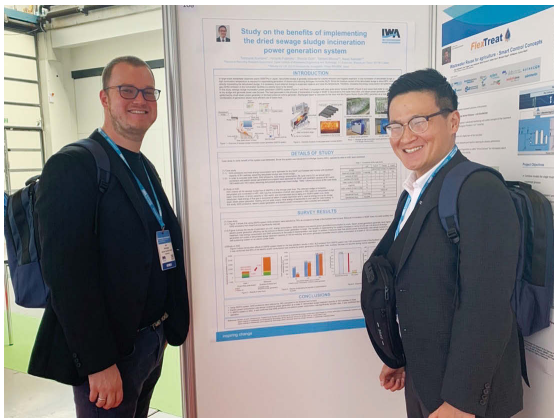


写真-1 ポスター発表の様子



研究発表

本会議における研究発表では、約400編の口頭発表と約500編のポスター発表が行われました。本機構からは熊野研究員がポスター発表を行いました。

発表内容は「Study on benefits of implementing the dried sewage sludge incineration power generation system（下水汚泥焼却発電システムの導入効果に関する研究）」です。

本システムは、廃熱ボイラーを有する階段式ストロカ炉とその廃熱を利用した汚泥乾燥および発電を組み合わせ、温室効果ガス排出量およびエネルギー消費量の削減効果が得られます。

処理規模ごとのケーススタディの試算結果、および本システムを導入したスラッジセンターの導入効果を報告しました。



写真-2 IWA開催式典の様子



展示会

展示会には約320団体が出展しましたが、10団体が共同出展したジャパン・パビリオンにおいては、産学官が一体となり、「Moving Toward Sustainable Water Future (持続可能な水の未来に向けて)」をテーマにレベルの高い日本の上下水道技術が発信されました。

会場内に設置されたジャパン・パビリオンにおいて本機構もブース出展を行い、「Research on methods for SARS-CoV-2 detection in wastewater (下水中の新型コロナウイルス検出方法に関する研究)」、 「Microplastics in wastewater treatment plants in

Japan (日本の下水処理場内のマイクロプラスチック)」、 「Technology Evaluation by JIWET (日本下水道新技術機構の技術評価)」について発信し、展示会参加者と意見交換を行いました。



おわりに

本会議および展示会を通して下水道機構の取り組みを国際的にPRすることができました。

2024年8月にカナダで開催されるIWA世界会議・展示会の成功に向け、関係者が一段と結束を強め、前進するために本機構も関係者の方々と協力し貢献していきたいと考えています。



写真-3 現地会場の様子



写真-4 ジャパン・パビリオンの様子

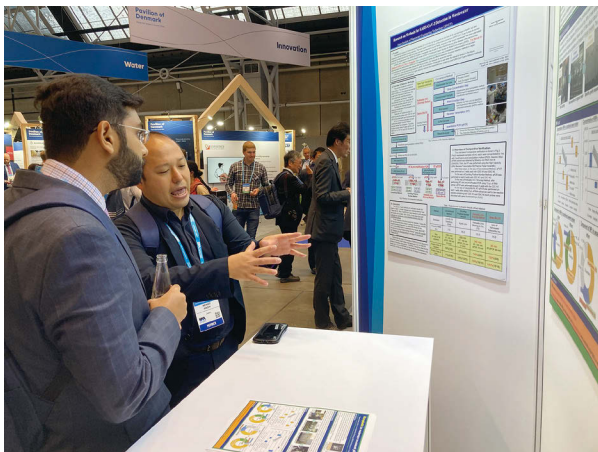


写真-5 本機構ブースの様子

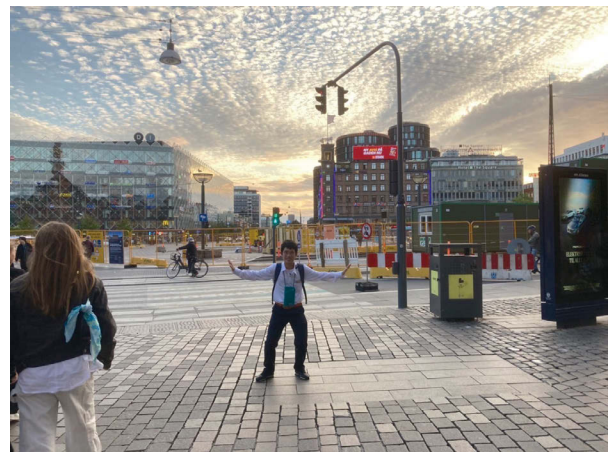


写真-6 コペンハーゲン市内の様子